

2023 ズバリ! 的中



世界史

関西学院大学

フランスのアフリカ支配に関する記述の正誤判定が的中

入試問題

2月4日実施 学部個別日程
〔V〕 問い④

〔V〕 次の文中の [] に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

第二次世界大戦を経て、ヨーロッパの宗主国の弱体化があらわになると、アフリカ各地では独立を求める運動が強まり、1950年代までに、①リビア、②モロッコ、チュニジア、スーダン、③ガーナなどが独立を達成した。④フランスの植民地を中心に17カ国が独立を果たした1960年は「アフリカの年」と呼ばれるようになった。1960年代には、ケニアなどの⑤イギリスの植民地も相次いで独立した。

しかし、アフリカのすべての国々が順調に独立を勝ち取ったわけではない。アルジェリアのフランスからの独立は7年以上におよぶ独立戦争の成果であったし、⑥イ領のアンゴラも独立までに10年以上の戦争を経なければならなかった。

独立した国々の歩みも、多くの場合、平坦なものではなかった。特定の地下資源や農作物の輸出に依存した経済、社会インフラの未整備といった問題が、発展の足かせとなった。コンゴやナイジェリアでは激しい内戦で多数の死者が生じた。こうした問題の解決には、⑦ロでのアフリカ諸国首脳会議により結成された⑧アフリカ統一機構や、これを引き継いだアフリカ連合などが取り組んできたが、残された課題はなお多い。

〔語群〕

- イ a. ドイツ b. スペイン c. オランダ d. ポルトガル
ロ a. アジスアベバ b. アガディール c. キガリ d. トリポリ

- ④フランスのアフリカ進出に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- サモリ帝国と戦い、西アフリカに勢力を広げた。
 - メリナ王国を滅ぼし、マダガスカルを植民地とした。
 - アフリカ横断政策をとり、ジブチをその東の拠点とした。
 - ファシヨダ事件後、エリトリアを植民地化した。

河合塾

冬期講習 関関同立大世界史
第5講 III 問い⑤

第5講

Ⅲ 次の文中の [] に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答えなさい。

19世紀における欧米の①探検家によるアフリカ内陸部の探検は、列強諸国のアフリカへの関心を高め、それに続くビスマルクによる②ベルリン会議の開催は、列強によるアフリカの分割と植民地化を一気に進めることになった。イギリスは③スエズ運河会社を支配下に置き、また南アフリカ戦争を通じ④アフリカ南部に勢力を築いた。⑤フランスはアフリカ大陸を横断する植民地化政策をとり、⑥ドイツやイタリアも植民地を獲得した。その結果、20世紀初頭にはエチオピアと⑦イ以外のアフリカ全土が列強の支配下に置かれた。⑧太平洋地域やアジアにおいても、列強による分割が進んだ。

列強による世界の分割が進むなかで⑨植民地支配に対抗する運動が各地で勃発したが、多くは鎮圧された。また⑩列強の二極分化と軍拡競争が繰り広げられたことで、ヨーロッパ情勢は緊迫の度合いを増していった。

〔語群〕

- イ a. スーダン b. リベリア c. カメルーン d. マダガスカル

- ⑤フランスのアフリカ支配に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- メリナ王国を滅ぼし、マダガスカルを植民地化した。
 - ファシヨダ事件ではイギリスに譲歩した。
 - ジブチを植民地化し、アフリカ横断政策の東の拠点とした。
 - チュニジアでサモリ＝トゥーレがフランスの支配への抵抗運動を起こした。